

様式第2号（第5条関係）

令和4年11月14日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 鵜川和彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和4年11月11日 ～ 令和4年11月12日まで
- 2 旅 行 先 東京都福生市議会
- 3 目 的 地方公会計制度について、議会として捉えている効果や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について
- 4 関 係 書 類 別紙のとおり



北海道栗山町議会 行政視察次第

日 時：令和4年11月11日（金）午後1時30分～

〔進 行 議会事務局 次長補佐 高 橋 直 志〕

1 開 会

2 挨 拶

（1）福生市議会 議会運営委員会委員長 佐 藤 弘 治

（2）福生市議会 議会運営委員会副委員長 堀 雄 一 朗

（3）栗山町議会 議長 鵜 川 和 彦 様

（4）栗山町議会 議会改革推進会議座長 齊 藤 義 崇 様

3 視察内容

（1）貴市で導入されている地方公会計制度について、議会として捉えている効果
や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について

4 閉 会

日 時	令和5年11月11日 午後1時30分～午後3時
視 察 先	東京都福生市
調査事項	地方公会計制度について、議会として捉えている効果や市民に対するフィードバックの手法、導入後の課題等について
対 応 者	福生市議会 議会運営委員会委員長 佐藤 弘治 氏 福生市議会 議会運営委員会副委員長 堀 雄一朗 氏 福生市議会事務局 次長補佐 高橋 直志 氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	栗山町は、統一モデルで財務諸表4表を作成しているが、福生市は、東京都モデルで作成している。特にキャッシュフロー計算書は、わかりやすい。事業別行政コスト計算書を作るのは、東京都モデルの方が先進モデルがあるだけ、やりやすいのではないのでしょうか。福生市の場合、東京都が積極的に働きかけをしたようです。 私が、2007年に議員初当選以来この件に、取り組んでいる。臼杵市や町田市を視察し、トーマツ監査法人の研修も行きました。その中で予算決算を福生市のようにやれたら、夢のようである。是非実現させたい。やるには、まず職員、議員の資質向上である。私達がiPadで苦勞しているように、議員各位も腹式簿記の勉強が必要であろう。 また、公務員の弱点である原価意識の欠如、ストック情報に対する関心のなさなどを克服する良い手段になり得ると考える。 P→D→C→A デミングサイクルを回して、より会計情報をフルコストで把握し、行政をマネジメントしたいと思う。